

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	空の鳥幼稚園		
○保護者評価実施期間	2024年11月25日		~ 2024年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年11月25日		~ 2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所が併設されており、年長児になると保育園の子どもたちと同じクラスで過ごす、インクルーシブクラスが設けられている	保育園の保育士、空の鳥の職員共に一人一人の子どもを大切にすることを大事にしている	インクルーシブ保育のあり方について、保育園とともに検討を始めている
2	医療的ケアが必要な子どもたちが安心して通うことができている	看護師だけでなく、3号研修を受講した職員も、関係性が築かれた後に、医ケアを実践する。	医療的ケアが必要な方が保育園を希望されている場合に、移行していくための、研修や引継ぎを丁寧に行っていくことが望まれている
3	様々な事情を抱えたご家庭に対して、必要な個別の対応を行っている。(自宅までの送迎・宿泊支援・緊急時受け入れ・兄弟支援・保護者支援など)	職員がお帳面や懇談などで保護者の困り感を察知し、必要とされることを積極的に行うことができている	自分たちだけでなく、関係機関も巻き込んで支援の輪を広げていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会などで、保護者向けの講演会などを行ってはいるが、「ペアレントトレーニング」としての細かな取り組みは十分にできていない	個別の懇談会で伝えていることができていることも多いので、あえて研修などを企画することができていない	自立支援協議会などの外部研修の機会も周知していく。保護者の方々が聞いてみたいお話などをアンケートをとってみる
2	職員間のコミュニケーション不足	送迎車に乗車する職員(4名)が必要なので、クラスで日々の子どもたちの様子などの話をする時間がなかなかとれない。	クラスでの話ができる時間がとれるように、シフトの中に反映させるように工夫を行う
3	人材育成	ベテラン職員の人材育成に対する意識	職員会議において、人材育成をテーマに話し合いを行い、自分たちの取り組みべき課題を共有している